

授業科目 言語聴覚障害診断学

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	言語
言語聴覚学科教員全員		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】					
言語聴覚障害の診断では、対象者とその家族に対して面接、検査、観察を行い、必要に応じて関連する他機関の情報を集め、それらを総合的に評価する必要がある。その診断にもとづいて治療計画を立案し治療を実行するのであるから、もし診断に誤りがあれば治療効果は現れない。					
本講義では、それぞれの言語聴覚障害を評価・診断する上での基本的な考え方と手順を知り、各種の言語障害に対応した治療計画を立案する方法について理解する。					
【学習目標・行動目標：SB0】					
1. 臨床上有効な言語症状の分類法を理解する					
2. 情報収集の方法を理解する。					
3. 鑑別・診断および治療計画作成の手順を学ぶ。					
4. 言語臨床で対象とする種々のコミュニケーション障害とそれに関連する領域の諸障害について上記の内容を理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	聴覚障害と発音・構音障害の診断・指導			1234	追って知らせる
2	聴覚障害と発音・構音障害の診断・指導			1234	
3	成人失語症			1234	
4	成人失語症			1234	
5	成人失語症			1234	
6	成人発声発語障害			1234	
7	成人発声発語障害			1234	
8	成人発声発語障害			1234	
9	言語発達障害			1234	
10	言語発達障害			1234	
11	小児発声発語障害			1234	
12	摂食嚥下障害			1234	
13	摂食嚥下障害			1234	
14	神経学的スクリーニング法			1234	
15	神経学的スクリーニング法			1234	
開講日は変則的になるので日程に留意すること					
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況と定期試験で評価する			【履修上の留意点】 開講日は変則的になるので日程表の掲示に留意すること		